

**一般社団法人 日本医学物理学会**  
**平成 23 (2011) 年度 第 1 回理事会 議事録**

日時：平成 23(2011)年 11 月 12 日(土)13:30－16:45

場所：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室 C

出席：遠藤・荒木・福村・赤羽・小口・奥村・櫻井・成田・松本・水野・蓑原(理事)  
金井(監事)、福田・豊福・尾川・榮(委員長等)、岡本(庶務理事補佐)

欠席：西尾(理事)、齋藤(監事)、福士・新保・鬼塚(委員長等)、河野(庶務理事補佐)

議題：

1. 移行に関すること  
会長の選任  
諸細則の決定(旧学会細則の読み換え細則)  
平成23年度事業計画、予算の継承の決定  
理事の担当、委員長、委員の決定(旧学会と同じとする)
2. 選挙に関すること  
選挙関係細則の決定  
選挙管理委員の選任  
選挙スケジュールの決定
3. 平成24年度事業計画案について
4. 平成24年度予算案について
5. 第 103、104、105 回大会の準備状況について
6. その他

## 議事

遠藤代表理事が開会を宣し、本日開催の社員総会で理事 12 名・監事 1 名が選任され全員の承諾が得られたことが報告され、前任の理事 3 名・監事 1 名に加えて新任の理事 9 名および各委員会委員長等出席者が着席し(監事 1 名欠席)、定款第 30 条に定める理事会の成立を確認した。

### 1. 移行に関すること

#### 会長の選任

遠藤代表理事の進行により、定款第 20 条 2 に定める会長の選任を行った。慎重詮議の結果、満場一致で遠藤代表理事を会長に選任した(従って他の代表理事である荒木代表理事は副会長)。

遠藤代表理事はこれを受諾し、定款 31 条の定めにより議長に就き、以降の議事を進行した。

#### 諸細則の決定

資料に基づき遠藤会長より提案がなされた。今回の提案は、旧学会の規程を継承し、一般社団法人日本医学物理学会の規程であると読み替えることに主眼をおいていることが説明された。

これにより 4 件の細則案が提案された。

審議の結果、入退会細則・入会金および会費に関する細則は原案通り、委員会に関する細則・学術大会長に関する細則については一部修正の上、満場一致で可決した。

#### 平成23年度事業計画、予算の継承の決定

資料に基づき遠藤会長より提案がなされた。事業計画・予算とも旧学会のものを全面的に継承していることが説明された。

審議の結果これを満場一致で原案通り承認した。

#### 理事の担当、委員長、委員の決定

資料に基づき遠藤会長より提案がなされた。本提案は旧学会の担当・委員会構成を全面的に継承していることが説明された。

議論の結果これを満場一致で原案通り承認した。

### 2. 選挙に関すること

#### 選挙関係細則の決定

資料に基づき遠藤会長より選挙制度案の概略が説明された。この内容を満場一致で承認した上で、遠藤会長より提案された選挙関連の諸細則を検討した。

これにより、3 件の細則を検討し、3 案とも満場一致で原案通り可決した。

また今次選挙における代議員定数は、本日開催の日本医学物理学会(旧学会)理事会において承認された正会員数 1822 名を基準とすることにより、92 名とすることを確認した。

#### 選挙管理委員の選任

遠藤会長より6名の委員・1名の顧問の候補が提案された。

議論の結果これを満場一致で原案通り承認し、本日より理事・監事選挙の終了の日までの任期中で指名することと決した。

#### 選挙スケジュールの決定

資料に基づき遠藤会長より代議員選挙ならびに理事・監事選挙の日程案が示された。

検討の結果この計画・日程を満場一致で原案通り承認した。

### 3. 平成24年度事業計画案について

資料に基づき遠藤会長より提案がなされた。新規事業として、学会の公益法人化を視野に入れた活動としての市民公開講座を開設すること、法人化による学会機能強化のための総務・研究委員会の設置が提案された。また学会運営面においては定時社員総会の4月開催の定例化、理事会開催の増の諸点が提案された。

総務・研究委員会は企画委員会の方が良いのではないかとの意見が出、次回理事会において確定することとした。

また科研費獲得については、大会やサマーセミナー時に申請書の作成を指導するような講座を開設すべきとの意見が出された。

### 4. 平成24年度予算案について

平成24年度事業計画に基づき策定された予算案が櫻井会計理事より示された。

審議の結果、サマーセミナー開催費を2,500,000円から3,000,000円に修正し、なお補正・検討を加えた上、次回理事会で確定することとした。

また先の課題ながら、公益法人化を視野に入れると事業の収支相償が問われるのでその点に配慮し、会費値上げ検討の可能性が遠藤会長より指摘された。

### 5. 第103、104、105回大会の準備状況について

#### 5-1 第103回大会について

尾川大会長より口頭で現況の報告がなされた。アブストラクトをMyPageで閲覧可能にすることを準備中であること、演題申込延長を検討中であることが報告された。

#### 5-3 第104回大会について

資料に基づき榮大会長より現況の報告がなされた。第1回実行委員会で大会役員、大会までのスケジュールを決定したことが報告された。

議論の中で、秋の大会のあり方について、従前の検討・議論を踏みつつ試行を重ねてゆくべき

ことが指摘された。

#### 5-4 第 105 回大会について

豊福大会長より、口頭で現況の報告がなされた。現在テーマを決定しつつあるところで、これから計画を進めることになるという段階。

### 6. その他

#### 6-1 教育委員会

松本委員長より、講習会等の受講証明再発行の要望の対応につき提議があった。本件は参加を確実に確認できる場合(サマーセミナー)のみ申請者の実費負担で応じるべきこととした。

#### 6-2 編集委員会

蓑原委員長より「医学物理」誌の投稿の少ないことが報告された(本年は大会が 春開催なし・秋国際会議のため記事なし)。この対策諸案が出された。

また、投稿減少は学会誌のありようと購読者(会員)のニーズの乖離があるのではないかという指摘がなされた。

本件は、編集委員会においてどういう事柄を記事にすべきか、枠組みを検討し理事会に提案することとした。

#### 6-2 QA/QC 委員会

福田国際交流委員長より、QA/QC 委員会で粒子線分科会の設置を模索中である模様であるとの報告があった。

以上ですべての議論を終え、議長は閉会を宣した。

議 長 \_\_\_\_\_ (印)

署名人 \_\_\_\_\_ (印)

署名人 \_\_\_\_\_ (印)

原本には記名押印あり